



No.49 発行日 24.12.10

みどりの風

MIDORI NO KAZE

H.P <http://akaneen.com/>

「友の会」25年 24回目のコンサート開催

「友の会」事務局

社会福祉法人あひるの会・あかね園が誕生した翌年に法人を支える後援団体として発足し、法人を経済的、精神的に支援して来ました。

あかね園は先達の血のにじむような努力で出来、多くの借金を抱えての出発でした。

「友の会」は会員募集とともに、確実な収入を得るために年1度（平成4年から1年半に1回、夏、冬交互で行う）コンサートを開催することになりました。加藤登紀子さん出演（入場料2,500円：習志野文化ホール）から今回は24回を迎えることが出来ました。

若さあふれる演奏の明大マンドリン倶楽部、すばらしい歌声、演奏を聴かせてくれたアーティストの方々、たくさんの出会いがありました。会場に足を運んで下さった方々等々、不慣れな私達を支えて下さり、ここまで続けてられました。改めて「友の会」一同、御礼申し上げます。

会員募集とコンサートの開催と共に、テレホンカード、17年間続けたカレンダーの発行販売もありました。お陰さまで法人は借金の返済を平成18年に終わる事ができました。一重に皆様のご協力と暖かいご支援によるもので心より感謝申し上げます。

「友の会」25年を迎えた今年、通算24回目の「友の会」コンサートは、船橋市民文化ホールで開催されました。時代の趨勢で規模縮小はやむを得ないことと思っておりますが、あたたかいコンサートになったと自負しております。これも皆様のご理解とご協力の賜物と思えます。



これからは「友の会」のもうひとつの目的、社会啓蒙の役割も果たす事。めまぐるしく制度の変わる中、機関紙「みどりの風」の紙面、また研修会で、知的障害者がより豊かに地域の中で暮らすために、法人が、家族が、本人がどう考え、行動するか会員の皆様にしっかり発信し、行動していく事が求められていくことでしょう。

借入金の返済は終わってもまだまだ厳しい状況の中での運営が続いております。これからも今まで以上に、後援団体「友の会」の役割は大きいと思えますので今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「友の会」代表 国松 実枝子

コンサートは毎回、地域に繋がる出演者（今回は公益財団法人ニューフィル千葉）のご協力を得て、楽しみにしていたださるお客様と園生85名、指導員が共に参加して定着して参りました。出演者への花束贈呈では数名の園生がステージに上がります。お客様にはその緊張した姿を通して啓蒙的な意味合いを感じて頂ければ幸いです。

今年度は運営委員のメンバーも若返り、懸命に取り組んでおります。他の仕事を持ちながら、また、様々な家庭の事情を抱えながらも、小さな時間を積み重ねて大きな成果を生み出す底力に期待します。あひるの会の拠り所の一つとしての「友の会」へのお力添えを切にお願い申し上げます。

“人材の確保と育成” ～キャリアパスの導入～

副園長 松尾 公平

今、福祉施設における人材の確保と定着の問題は障害、高齢分野に関らず、福祉業界全体の切実な問題となっています。今回はあかね園において、ここ数年力を入れている人材の確保、育成の取り組みについてお伝えしたいと思います。

先日、幕張メッセで福祉施設等の仕事に就きたい方を対象とした個別面談会がありました。あかね園も有望な人材を確保したく、毎年このフェアには参加してきました。今年も県内165もの福祉施設、事業所が一堂に会しましたが、会場全体の参加者(学生)も閑散としており、残念ながら思うような成果には結びつきませんでした。私が入職した頃(平成9年)のこの面談会ではあかね園のブースに大行列ができ、200人以上の希望者が来たと聞いています。しかし、大きな失業率を記録し、少子化も加速したこともあり、福祉職に就きたい方(特に学生)が激減、若い世代の「福祉離れ」が進みました。さらに追い打ちをかけるように、福祉制度も「措置」から「契約」の時代となり、障害福祉の業界は激変の時代に突入、施設が生き残っていくためには、より質の高いサービスと人的資源の量の確保が求められ、今では各施設が様々な手段や費用をかけて、必死に人材確保に努めなければならない現状です。

こうした中、福祉施設全体における人材の危機的な問題に対し、国は平成21年から、一定の要件を満たした事業者に対し、賃金改善のための交付金を出す「福祉・介護人材の職員処遇改善事業」を設け、まずは賃金面から多少、改善が図られました。また、翌年からはキャリアパスの要件も追加され、あかね園においても、いち早くコンサルティング会社と契約し、キャリアパス(人事考課制度)を導入しました。

キャリアパスは職員が業務に積極的に取り組むために、そして個々の将来像を見据え、中長期的な目的を明確にし、仕事へのやりがいに繋げることが主眼です。

導入にあたっては、まず、全職員に対し、現状と今後の方向性についてのアンケートや説明会を実施し、その中でも特に現場で支援にあたっている若手職員達からの「将来の見通しをもって働きたい」「自分の頑張った事がしっかりと評価される仕組みにしてほしい」等の声を受け止め、給与の規程や就業規則の見直しを実施しました。また、職員達が「あかね園で働く上で必要な資質とは何



▲コンサルティングによるタイムマネジメント講習

か」を自分達で検討し、自分達で考課する(される)考課表を作成しました。また、同時に役職や経験年数等に応じた研修も取り入れました。

(※詳細は次の頁の「職員研修」を参照)

あかね園は設立から26年来、地域で「働く」「暮らす」というテーマを掲げ、時代背景にも負けず、ぶれる事無く活動を行ってきました。

「社会に出る為に」、「利用者にとって何が必要か」という強い思いから、時には休日や昼夜を問わず、彼らと向き合い、職員は成長していく利用者にご迷惑ややりがいを感じ、自分の仕事の意味を見出し、そして職員自身がそこで成長してきました。

しかし、その「利用者にとって」という支援者側の強い思いも、ともすれば「虐待」や「権利侵害」と捉えられてしまったり、「訓練」や「指導」が敬遠され、一方では結果がより重視され、その過程においてもスマートな対応が好まれる時代に変化してきました。

職員がこれまでは利用者支援を通じ、学び得ていたことも「サービス提供の視点」や「チームでの支援」等、支援のかたちの変化と共に変わりつつあり、また求められる知識や技術、資質も変化してきています。

あかね園の目指す事は変わらずとも、こういった時代背景の変化と共に、園における人材の確保、育成、定着の手法も柔軟に対応していかななくてはならず、時には若い職員の意見も参考にしながら、今日も頭を悩ませているところです。

“職員研修” ～さまざまな型で取り組み成果をあげる～

支援課 課長 高師 牧子

あかね園では利用者の定員数の増加やサービスの多様化に伴い、年々職員の数が増えています。年齢や経験・立場の異なる職員が、各々の持ち場で利用者のニーズに応じた良質なサービスを提供できる様に、職員研修の役割も重要になってきています。

今年度の職員研修は①全体研修②グループ研修③個人研修の3つの形で取り組んでいます。

① 全体研修は、毎月第3水曜日の午後を使い、職員全員が把握すべき事項を確認・共有することを目的としています。年度初めの「あかね園の理念・事業運営について」で始まり「防災訓練」「障害者虐待防止法と利用者対応」「感染症」「タイムマネジメント」など職員全員が集まる数少ない貴重な時間となっています。

② グループ研修は人材育成の一環として、年齢や役職で職員を分けて、それぞれの立場で自らの役割をしっかりと認識することを目的としています。コンサルタント会社に委託をし、グループごとに年間1～6回の研修を受けています。各グループが、私たちの仕事でもある「人との関わり方」を中心とした人材育成の手法を改めて学術的



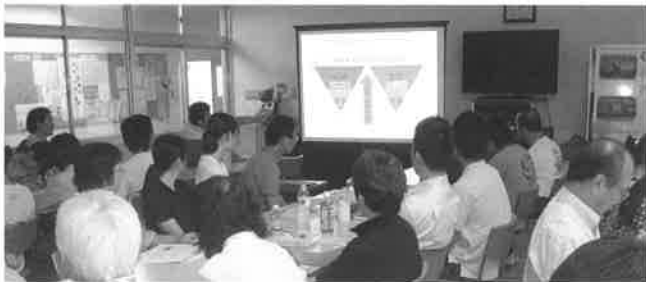
▲流山高等学園見学

に学ぶ場になっています。

又、事業別（自立訓練・就労移行・就労継続・支援センター）に外部施設見学の企画をし、各事業の状況に合わせた、より実践に役立つ研修も設けました。

③ 個人研修は専門的な知識や技術を個々が学ぶことを目的に外部主催の研修に、参加をしています。今年度は「発達障害とは」「てんかんとは」「思春期の理解と就労」等々に参加をし、必要な専門的知識を得ています。

これらの研修と日々の取り組みの中で職員ひとりひとりが力をつけ、様々な支援の場で生かせるようにしていきたいと思います。毎月3水曜日の研修日は利用者が半日で降園となりますが、利用者・保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞお願い致します。



第26回 あかね園バザー ご協力いただきました企業

(順不同 敬称略)

フジッコ(株) (株)ダイエー東京プロセスセンター (株)フレッシュダイナー ニック食品(株)
(株)ミスターマックス新習志野店 (株)おたべ 金亀糸業(株) ライフフーズ(株)船橋工場 (株)セキヅカ商事
イオンフードサプライ(株) (株)エスシー エスフーズ(株) (株)カルタス 千葉中央ヤクルト販売(株) (株)東京エコー
(株)ニチレイフーズ船橋工場バックセンター 船橋興産(株) (株)ダックス ロイヤル(株) (社)京葉食品コンビナート協議会
文明堂製菓(株)船橋工場 船橋総合卸商業団地協同組合 京葉測量(株) 小石産業(株)
(株)ロジスティクス・ネットワーク習志野物流センター 石上青果(有) 肉の榊 京成バス(株)船橋営業所 (株)日経首都圏印刷
サッポロビール(株)京葉物流センター (株)市川環境エンジニアリング 千葉トヨペット(株)コルネット事業部
イケア・ジャパン(株) 東京アート(株)第一物流センター 習志野市茜浜第3企業連絡協議会 ヴァリユゲイツ(株)
利根コココーラボトリング(株)船橋支店 三井食品(株) (株)フリジポート プライフーズ(株)第一プロイラーカンパニー
習和産業(株) (株)ドトールコーヒー (株)ジェイアイシー (株)今半船橋工場 (株)船橋総行 (株)京樽船橋工場 豊茂園
日新化工(株) 石橋梨園 森永乳業(株) (有)E-anbai

ありがとうございました。



第26回あかね園バザー報告



10月7日、あかね園バザーが開催。今年で26回目を迎える大イベントです。保護者会、就労者親の会の親達がこの日のために精一杯準備をしてきました。前日夕刻からあいにくの空模様となり、当日のお客様の出足が心配されましたが、私たちの不安を吹き飛ばすように開場前から300名を超えるお客様が列を作ってくださいました。あかね園バザーがこんなにも皆様方に理解され、楽しみにして下さる姿を目にし、本当にありがたい思いでお迎えいたしました。

開園と同時に会場はあっという間に大勢の人で埋め尽くされ、元気な園生とお母さんたちの「いらっしゃいませ」の声が各売り場で飛び交い、一気にお祭り気分。ばか面踊りのお囃子が聞こえるころには会場はさらに熱気に溢れ、イケアさんの実演販売や芝六太鼓の演奏と、最高の盛り上がりを見せてくれました。

開催の積み重ねが「あかね園バザー」をこの茜浜の地に根付かせ、地域の皆様に支えて頂いていることを改めて実感した一日でした。

午後にはお天気も回復し、バザー販売も大きな成果を上げることができました。お越しいただきました多くのお客様に感謝申し上げます。また、ご協力頂きました企業様、各団体や個人の方々に心より御礼申し上げます。

尚、バザーの収支は以下の通りです。

総売上：2,936,108円	総経費：312,552円
収 益：2,623,556円	

収益金は、社会福祉法人あひるの会と、あかね園運営のために有意義に使わせていただきます。

バザー実行委員 高橋 恵子



「友の会」へのご入会をお願いいたします。

一般会員（年間一口 3,000円） 法人会員（年間一口 10,000円）

郵便振込 00110-0-354445 銀行振込 千葉興業銀行 津田沼支店 普-4771251

入会申込み、問合せは事務局まで Tel 047-452-2715 Fax 047-452-2693



園 日 誌 よ り



自立訓練事業 佐藤 絵梨香

「誰か手伝ってください」という職員の声かけに「僕がやります!!」「私がやります!!」といち早く手伝おうと駆け寄ってくる園生や「何か手伝いましょうか」と自分から行動出来る園生が増えてきました。バザー前も、保護者の方が重い荷物を持っているとすかさず「持ちます!!」と声をかける様子も見られました。バザーはお客様を迎える行事であることを常々、話をしていたことから、荷物運びも自分の仕事であるという意識が身についているように感じました。

自立訓練事業は新しい園生を迎えて半年以上が経ち、4月は自分の事で精一杯の新生生でしたが、今では、困っている人を手助けできるほど、周りの状況を判断して動ける様になりました。それも、作業や生活訓練を通して「考える力」や「仕事をやらされているのではなく、自分の仕事としてやらず

てはいけない」という気持ちが育ってきたからではないかと感じます。

まだまだ、やることを分かっているも自信が無く、行動に移す事が出来ない人や自分の事だけに集中してしまう人もいますが「私がやります!!」と率先して行動出来るような人になって欲しいと思いながら、日々、支援にあたっています。

編 集 後 記

今年の夏は、日本中が「オリンピック」に湧きましたが、園では何といても「パラリンピック!」

諦めずに頑張れば必ず願いは叶います。皆それぞれの目標に向かってGO！ (K)

編集人 あひるの会友の会代表 国松実枝子

発行所 社会福祉法人 あひるの会「友の会」

〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号